

お知らせ

平成20年度 二松学舎大学COEプログラム公開講座

20年度本プログラムが開催する特別講義等は、日本漢文学研究又は漢文文献の調査・整理に関心を持つ若手研究者及び書誌調査の専門技能者を育成するために開くものです。対象は学内外の大学院生及び院生レベルの若者を主とし、他に一般社会人等にも、講義あるいは講習等を通じて必要な基礎知識と技能を身につけることを目的としています。

受講料：無料 対象者：学生、研究者、教員、図書館員及び一般の方 会場：本学九段校舎

応募締切：各講座の開始1週間前（受講申込書により先着順受付。定員になり次第締切） * 重複受講可

申込・問い合わせ先：二松学舎大学COE事務局 〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16（九段校舎）
 : 03-3261-3535 Fax: 03-3261-3536 e-mail: coejimu@nishogakusha-u.ac.jp URL: http://www.nishogakusha-coe.net

講座名	内容	講師	所属	期間・時限等	募集人員
特別講座	1 江戸の漢文	佐藤 保	COE顧問 本学 前理事長	月曜日 6時限 前期・後期	締切りました。
	2 江戸の漢詩	石川 忠久	COE顧問 本学 前学長	木曜日 6時限 *注4	締切りました。
演習講座	3 漢籍書誌学	高山 節也	本学 教授 (拠点リ-ター)	水曜日 6時限 前期・後期	締切りました。
	4 古文書解説講座	町 泉寿郎	本学 専任講師	火曜日 3時限 前期・後期	締切りました。
	5 『教訓抄』の研究	磯 水絵	本学 教授	火曜日 4時限 前期・後期	締切りました。
	6 古訓読解演習	佐藤 進	本学 教授	火曜日 4時限 前期・後期	締切りました。
集中講座	訓読資料論	石塚 晴通	本学 非常勤講師 COE客員研究員	7/23～7/26 12/17～12/20 2・3・4 時限	締切りました。
	中日漢詩文の交流	王 宝平	浙江工商大学 教授 COE海外拠点リ-ター	9/16～9/20 12/15～12/19 2・3・4 時限	締切りました。

文献資料書誌 技能者 養成講座	9	曲直瀬道三の医学と中国医書	曲直瀬道三(1507 - 1594)は、日本に金元医学を導入した人物として著名である。彼の生きた時代は織田信長や豊臣秀吉の時代と重なり、日本が全国統一へ向けての機運が高まった時代である。道三は医学の面での天下統一を目指した。この軌跡を、道三の師匠、田代三喜、および、道三の二代目、玄朔の医学も含めて論考したい。	遠藤 次郎	東京理科大学 教授	土曜日 2時限 6/7 6/14 6/21	締切りました。
	10	漢籍に於ける宋版の位置 中国そして日本	漢籍はわが国の日本漢学歴史を知る上でじつは最も重要な文献なのであるが、その価値は一般には宝物の範疇に止まっている。中国では、日本人が思う以上に宋版の価値が一般にも知られている。宋版は書物の王様であり、人間の歴史を右にも左にも動かしてきた。日本の漢学も宋版によって幾つかの転換を重ねてきたのである。宋版のすばらしさと怖さと威厳を学ぶことが、本当の意味での書誌学の到達点であると言っても過言ではない。少しでもその実体の理解につとめることが、また、書物の深みに入っていくことであることを、お話ししたい。	高橋 智	慶応義塾大学 斯道文庫 准教授	土曜日 3時限 6/7 6/14 6/21	締切りました。
	11	和刻本漢籍の調査に関して	和刻本漢籍のみならず、古書の調査整理をする時に、調査すべき書物そのものに、現代書のように書誌的な画一性が無いために、しばしばどのように書誌を取れば良いか困惑することがある。講義では実務的な側面から、書名や刊記の確定、無刊記本の推定等に関して、調査の時、注意して貰いたい或いはヒントにして欲しい点を述べる予定である。	高橋 良政	日本大学 教授	土曜日 2時限 6/28 7/5 7/12	締切りました。
	12	中国仏教文献概説	紀元2世紀以降、インド西域から大量の仏典が伝えられ漢訳され、また中国人も經典に基づき多くの論書が撰述され、後に様々な大蔵経として集成されていく。本講義ではそれらの漢籍を分かりやすく解説していく。	丘山 新	東京大学 教授	土曜日 3時限 6/28 7/5 7/12	締切りました。
	13	広瀬淡窓と咸宜園	広瀬淡窓の創設した咸宜園は、多い時には在塾生が百名を超えていた大規模な私塾であった。近世後期の学校であるから、近世前期からの学問や教育が集約され、また、明治以後への影響も少くない。従って、この私塾を考察することは、近世から近代への結節点を見つめることになるといっても過言ではないだろう。具体的な資料を配布して読解しながら、咸宜園について考察を加えてみたいと思う。	三澤 勝己	国学院大学 講師	土曜日 2時限 12/6 12/13 12/20	締切りました。
	14	古典籍に見られる装訂とその取扱い法	古典籍は様々な装訂により綴じられているため、取扱い法を考えるにその構造を無視することは出来ない。そこで各装訂の構造を実物から説き、一部は雛形を作製するなどし、その長所短所を明らかにしたうえで、いかなる取扱い法が良いかを考えていく。	中村 一紀	宮内庁書陵部	土曜日 3時限 12/6 12/13 12/20	締切りました。

注) 1. 開講時間 = 2時限：10:40～12:10 3時限：13:00～14:30 4時限：14:40～16:10 6時限：18:00～19:30

2. 単位講座 = 7、8の講座は、本学院生が受講した場合は、修了の単位となります。

3. 前期・後期 = 前期：4/14～7/15の15回 後期：9/22～12/22・1/8～1/19の15回

4. 2「江戸の漢詩」の開講予定日 =

前期：4/17、4/24、5/8、5/15、5/22、6/5、6/12、6/26、7/10、7/24

後期：9/11、9/18、9/25、10/9、10/23、10/30、11/13、11/27、12/4、12/11

5. 開講日等 = 開講予定日・教室は、講師及び学内行事で変更することがあります。

また、夏季休業は 8/6～9/21、年末年始休業は 12/23～1/7 です。